

# 志木ロータリークラブ

2025-26年度 国際ロータリー 会長 フランチェスコ・アレツツオ 「UNITE FOR GOOD」

2025-26年度 第2570地区 ガバナー 坂口 孝 「よいことのために手を取りあおう」

2025-26年度 志木ロータリークラブ 会長 金剛光裕 「前進」

## 第2442回 例会

2025-10-22

◎司会 吉原 正 副会長

◎点鐘 金剛 光裕 会長

◎ソング 我等の生業

◎ソングリーダー 遠藤 貴博 会員

◎四つのテスト 遠藤 貴博 会員

◎ゲスト 山形 碧様 (入会予定者)



## 「会長挨拶」 会長 金剛光裕

皆様こんにちは。会長の金剛です。よろしくお願い致します。

10月も中旬を過ぎるとだんだん肌寒さが続きます。暑すぎず寒すぎず、仕事に限らず様々な活動がとってもしやすくなる季節になりました。

さて昨日は日本の首相を決める選挙がありました。通常であれば第1党である自民党総裁がそのまま首相となります。現在は少数与党という事で、野党と共に、高市総理が誕生できました。初の女性総理という事で注目されていますが、女性をウリにするわけではなく、政策や思想等でようやく選ばれました。

た。久しぶりの中道ど真ん中の政治家であると思います。石破前総理の負の遺産から脱却するにはとても大変だと思いますが、ぜひとも日本をより良い方向へ舵取りしていただきたいと思います。様々な課題が山積みですが「日本を強く豊かに」をめざして邁進していただきたいですね。

今回も前回と同様、弘法大師空海著作の「遍照發揮性靈集」より引用いたします。

「人の相知ること、必ずしも対面して久しく述べるに在らず。意通すれば即ち傾蓋の遇なり。」という一節があります。

人が互いに理解しあうのは、対面して長時間語りあう必要があるとは限らない。心が通じれば、車の蓋を傾けて語りあう出会いとなる。という事です。

人と出会った瞬間、あるいは何かを見た途端、「ああ、これこれ」と直感的に感じことがあります。しかし「いやいや」ともっと深く考えようとして機会を逃したり、自分や相

## 10月は「地域社会の経済発展月間」／「米山月間」です

手の熱が冷めてしまうこともあるでしょう。「それはそれまでだ」という意見ももちろんあります。

弘法大師は唐の長安で惠果阿闍梨に初めて会ったときに、惠果阿闍梨より「私はあなたのことを長い間待っていました。会うことができて本当に良かった。私の寿命は尽きようとしているのにまだ法を伝える人がいません。今すぐ法の伝授の準備をして下さい。そしてこの密教の教えを日本国のために日本に広めて下さい」と空海におっしゃいました。そして空海は密教の教えをすべて惠果和尚から相承しました。この伝授の後、惠果和尚は間もなく亡くなりました。このことは何事も直感とスピード感が大事だといえる好例です。

もちろんじっくり論理的に考えて結論を下すのはとても大切ですが、このような例もあるということです。

このように逃したくない出会いというものが人生においては何度かあるのかもしれません。時間やタイミングを計るのはとても大切ですが、時には直感やスピード感も必要だと思います。

さて、今年も残すところ2か月となりました。スピード感をもって何事も進めていきたいですね。

本日もよろしくお願ひ致します。

### 「幹事報告」

幹事 塩野 章

#### 1. 地区事務所より5件受信

- ①国際ロータリー会長代理の派遣について
- ②国際ロータリー第2570地区地区大会

大会1日目：川越プリンスホテル

11月22日(土) 受付開始 13:30

大会2日目：川越プリンスホテル

11月23日(日) 受付時間 12:30

#### ③2025-26年度台北国際ロータリ一年次大会へのお誘い

開催日程：2026年6月13日～17日

活動拠点：台北ドーム

#### ④会員増強会議の開催案内

日時：10月24日(金) 18:00～

場所：朝霞市民会館ゆめぱれす会議室(梅)\_

⑤公共イメージ委員会クラブ活動情報の効果的な発信について

2. ガバナー会事務局より姉妹クラブ・友好クラブに関する情報提供依頼受信
3. ロータリー文庫運営委員会より文庫通信
4. 志木市観光協会より令和7年度志木市観光協会会費納入依頼受信
5. 志木市環境推進課より「親と子の市内まるごとクリーン作戦 Part.2 川辺の清掃」の開催に伴う受付協力依頼受信
6. ハイライトよねやま Vol.307

### 「委員会報告」

#### ●職業奉仕委員会

委員長 林 康雄

#### 靖国神社正式参拝例会のご案内

11月13日(木) 午後2時45分から靖国神社で正式参拝を行います。

参拝終了後は、靖国神社敷地内の「遊就館」の見学を予定しています。

その後、飯田橋へ移動し、「ニクバルクオン本店」にて懇親会を予定しております。

集合：13:00 志木駅上りエレベーター付近  
14:20 靖国神社第二鳥居

服装：正式参拝になりますので、上着及び靴下は着用して参加ください。

#### ●親睦活動委員会

委員長 高橋 良

#### 近隣4団体交流ゴルフコンペのご報告

過日、近隣4団体交流ゴルフコンペが開かれました。

志木ロータリークラブ、朝霞青年会議所、志木商工会青年部、武蔵野支部中小企業家同友会の4団体が参加し最後の懇親会まで懇親を深められたことと思います。

志木ロータリークラブが団体優勝することができましたので優勝賞金につきましては寄付させていただきました。

今後とも引き続きのご参加を宜しくお願ひ致します。

#### ●社会奉仕委員会

副委員長 為井公拓

#### 川と街をきれいにする運動について

親と子の市内まるごとクリーン作戦 Part.2 川辺の清掃が行われます。(詳細既報)

10月26日(日) 集合 8:30

集合場所：市役所グランドテラス

## 10月は「地域社会の経済発展月間」／「米山月間」です

- 社会奉仕委員会 委員 西川和人  
志木ぶらり散歩マップ  
エコシティ志木様より、志木ぶらり散歩マップをいただきました。
- 青少年奉仕委員会 委員長 宮原俊介  
秋の非行・薬物乱用防止キャンペーン協力  
志木市民まつりにおいて秋の非行・薬物乱用防止キャンペーンへの協力を実施します。  
啓発用のティッシュを配布する予定です。  
11月30日(日) 12:30~13:30  
配布場所：旧村山快哉堂
- 公共イメージ委員会 委員長 内山雄二郎  
マイロータリー登録について
- スポーツ観戦同好会 戸國大介会員  
⌚スポーツ観戦同好会 活動報告⌚



10月18日(土)、大宮のNACK5スタジアムでスポーツ観戦同好会を開催しました！  
参加者は7名。志木にユースチームの練習場があるRB大宮 vs 藤枝MYFCの試合を観戦しました。

試合はハラハラドキドキの展開で、最後まで目が離せませんでしたが、RB大宮がなんとか薄氷の勝利！我々も大いに盛り上がりました（安堵しました）

お忙しい中ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。次回はラグビーやバスケットボールの観戦企画を予定しています！ぜひまた一緒に盛り上がりましょう♪

### 「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌委員会 委員 小林八郎  
『ロータリーの友』10月号記事紹介  
【横組】

- P3 RI会長メッセージ  
P4 ロータリーの誕生とその成長  
P15～ 特集・米山月間  
よねやまを知って親しもう！



- P22～ 2026年国際大会 質問の答えを探す旅 台北大会に行くべき理由を徹底解説  
【縦組】  
P2～ シウマイの街 鹿沼～崎陽軒の発展～  
P19 ロータリーあるある相談室

### 「職業奉仕3分間スピーチ」 白井義尊会員



職業上のモットーということですが、まず私個人のことをお話ししたいと思います。無償事業と言って良いのか分かりませんが、一つ目、現在進行形で、ご存知のように私は趣味が献血でございます。本日まで488回。血漿献血をしております。これが今回のために埼玉県赤十字社からお借りしたサンプルで、200cc入っていますが、私は体重75キロ以上なので700mlまで取れます。

二つ目は過去の話で、30歳の時に日本骨髄バンクのドナー登録をしました。55歳で健康のためにドナー登録は無くなるのですが、その20年ほどの間に5回適合して、その内の1回、2010年11月に新潟大学の病院で骨髄提供の骨髄移植をしました。

その入院の時に、白菊会という団体があるのを知りました。これは生前に献体を希望す

## 10月は「地域社会の経済発展月間」／「米山月間」です

る人々が登録し、死後にその遺志に基づいてその遺体を大学に提供する。献体は医学の発展に貢献するということで、医学生の教育に役立てられるということだそうです。お骨になつて自宅に帰つてくるまで2年から3年かかるということです。

これが未来の話ということで、慈善事業という訳でもないのですが、まとめとしましてビジネスではない、自分が提供できるもの、イコール私の価値は何だろうと思っております。先頃金剛会長が「慈悲の心」「利他の心」というお話をされましたけれども、そこまでの境地に至つていませんけれどもそういう気持ちを持って、個人でさらに職業、推進していきたいというふうに思っております。

### 「卓 話」

#### 「11月のロータリー財団月間に因み」

地区ロータリー財団委員会奨学学友  
平和フェロー委員会 副委員長 遠藤貴博会員



11月のロータリー財団に因み、財団の活動と存在意味をご説明したいと思います。

もしロータリー財団がなかったら、想像したことがあるでしょうか？

少し大げさな表現があろうかとも思いますが、財団の役割と、活動の意義をご理解賜ればと思います。

では最初に皆様もご承知のポリオ根絶活動ポリオプラスのプログラムです。

ポリオウィルスは日本では小児麻痺とも呼ばれます、感染者の90%は無症状で、多くは5歳未満の子供が発症します。ポリオの歴史は古く18世紀ころから流行が記録されるようになりました。20世紀になると世界中で

大流行します。1960年代は日本でも流行しましたが、ワクチンが緊急輸入され、おおよそ20年かけて日本でのポリオ患者はゼロになりました。1985年にロータリー財団はポリオプラスプログラムを開始します。現在はビル・ゲイツ財団もパートナーシップを結び、ロータリー財団が提供する資金に比例して、2倍の額が提供される事になっています。そのおかげで現在では99.9%減少し、残すところアフガニスタンとパキスタンの2か国のみというところまで来ました。あと少しなのですが、ポリオは非常に感染力が強いウイルスです。現代のように多くの人が世界を行き来するなかでもしロータリー財団がなかつたら、ポリオ感染者で無症状な人が移動することにより、再び流行を生み、また日本の子供達までが犠牲になるばかりか、コロナのようにパンデミックがよっしちゅう起こるという事態になつてしまふかもしれません。

続いてロータリー財団は世界の若者を対象にした平和フェローシップや奨学生などを通じて、平和構築や紛争解決の専門家を育成しています。このようなプログラムが存在していくと、ロシア、ウクライナ戦争を始め、至る所で大小の戦争が起きています。異なる文化や背景を持つ人々が対話を通じて相互理解を深める機会が減り、財団がなければ平和を推奨できるリーダーが減り、今頃は世界戦争に繋がっていたかもしれません。

そして財団は途上国や貧困国に対し教育、水と衛生、母子の健康などの分野で世界中に支援をしています。こういった国や地域で支援が行われない場合、人々の生活改善や自立への道が閉ざされ、病原菌の発生や、貧しさからの犯罪組織などに繋がり、やがてテロリストなどへと発展しかねません。過去には中東でジャーナリストや観光客を拉致し身代金を政府に要求する事件もありましたが、あのような件が世界のあちこちで頻発してしまうかもしれないのです。

このように必要不可欠だと分かったロータリー財団の主な活動は7つの重点分野といわれる平和の推進、疾病予防、水と衛生、母子

## 10月は「地域社会の経済発展月間」／「米山月間」です

の健康、基本的教育と識字率向上、地域経済の発展、環境保護がこういった活動につながっています。

ロータリー財団の始まりは 1917 年、米国アトランタで開催されたロータリー国際大会にて当時 RI 会長であったアーチ・クランフさんはロータリーが基金を作り、全世界規模で良い事をしようではないかと提案しました。これが財団の全身となります。私たちは自分のためだけに生きるべきではありません。誰かのためによいことをする喜びのために生きるべきです。

先に財団をわかりやすくいいますと、国際ロータリーの銀行のようにイメージすると良いのかもしれません。

当地区では一人、年間 210 ドルの寄付をお願いしております。

ただし皆さまが既に支払われているクラブ年会費の中から、50 ドルの年次基金と 30 ドルのポリオ、30 ドルの恒久基金すなわち計 110 ドルはクラブ寄付として事務局より手続きをしていただいておりますので個人的に追加 100 ドルと言うことになります。

そして主にロータリアンから集まったお金は、そのまま流れるわけではなく多くは一旦運用されたのち、世界各地の人道支援や教育、奉仕プロジェクトへ資金を提供します。この運用というのがポイントです。

上のポリオプラスだけは使途指定の寄付なのですが 年次基金のほとんどは 3 年間投資され、そのあと役半分が地区に戻され地区補助金として使われ、残りの役半分が国際活動として使われます。

今回志木では地区補助金を使って丸井横の地下道壁画の清掃を行います。

続いて恒久基金ですがこちらは継続的に未來の活動を支援し続ける為に、基本的元本には手を付けず投資した収益の一部のみが使われます。昨年度、志木でもお預かりしたグローバル補助金奨学生の宍戸さんなどは年次基金やこちらの資金が使われています。皆さんから預かったお金を 3 年投資・運用されたのち、その収益を財団の運営費に充てられるの

で、皆さまのお金が無駄なく奉仕活動に使われるようになっています。ロータリー財団は約 90%がプロジェクトに使用されていると、慈善団体の格付けを行う米国のチャリティーナビゲーターより、16 年連続で最高の評価 4 つ星を受けています。

ロータリー財団とはロータリアンが良い事をする為の資金の出し入れを行う銀行のようなものというのがご理解いただけたでしょうか。

国際ロータリーとロータリー財団は役割が違うと言ふことになります。

国際ロータリーはクラブの運営を統括し、ルールやプログラムを決め、会員ネットワークを支える所。

ロータリー財団は寄付金を集め、ロータリアンの奉仕活動に資金提供する場所となります。国際ロータリーの活動を資金面で支えるためにロータリー財団はあるわけです。そして今年度より当地区の平和フェローシップで新たな動きがありましたのでご報告します。このプログラムの目的は、世界平和に貢献する人材を育成することです。

ロータリー平和フェローは、世界の 7 か所に設置されたロータリー平和センターで平和と紛争解決に関する研究や研修に参加します。

日本では三鷹市にある国際基督教大学 (ICU) に設置されています。

今まで 2570 地区の平和フェローは私の知りうる中では 1 名の輩出はあったものの受け入れはしておりませんでした。

今年度より 2570 地区はホスト地区として参加することになりました。

さっそく今年度は川越ロータリークラブがホストとして 8 月にクリントン・キンメルさんが来日しております。クリントンさんは今年の 6 月までは国際移住機関の一員として、バングラディッシュのコックスバザールにて 7 年間、50 万人のロヒンギヤ難民に調理用燃料を供給するための人道支援エネルギーネットワークの管理をしていました。今後ロータリー平和フェローシップを卒業した後は、国際移住機関に戻り、より戦略的で影響力のある

## 10月は「地域社会の経済発展月間」／「米山月間」です

る平和構築の開発と実施に貢献することが彼の長期的な目標との事です。

そして最後になりますが、11月2日に東松山スリーデーマーチ、END POLIO NOWポリオ撲滅運動がございます。

昨年は志木から会長、幹事はじめ10名の参加をいただきました。良い体験になります、みなさまも是非ご参加いただけたらと思います。

なにとぞ世界平和のために、また地域社会のために、そしてロータリアン一人一人のために、どうかよろしくお願ひいたします、わたくしの卓話とさせていただきます。